

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜城北高等学校 学校運営協議会（第2回）
- 2 開催日時 令和6年10月8日（火） 13:30～15:30
- 3 開催場所 岐阜城北高等学校 会議室
- 4 参加者

副会長	河野 隆	はなぞの北幼稚園 園長
委員	菊池 啓子	中部学院大学短期大学部 教授
	前田 吉彦	岐阜北ロータリークラブ
	福田 健二	三田洞地区自治会長
	中村 有希	ファッションデザイナー
	後藤 美雪	本校PTA副会長
学校側	和田 摂子	校長
	田内 俊文	教頭
	柴田 幸美	教頭
	高井 和子	事務長
	車戸 祐介	教務主任
	坂 美里	生徒指導部
	井口 貢志	進路指導部長
	杉山 貴大	総合学科長
	杉山 福美	生活デザイン科長

5 会議の概要（協議事項）

(1) 学校の取り組みについて

- ・「学校評価アンケート（生徒及び保護者等）」、「夏の高校見学会」アンケートについて
- ・「スクール・ミッション」の策定について
- ・学科の取組（地域連携、教育活動）について

(2) 意見

意見1：学科の取組のスポーツビジネス、JSC（城北スポーツコミュニティ）については、どんな人を集めるか、何の目的のために集客をするのかを詳細にし、ターゲット分析をする必要がある。スポーツには、道具が必要な種目もあるため、道具を貸し出すことや、気軽に参加できるような仕掛けを考えるとよい。

意見2：参加者のターゲットを低年齢にするのであれば、スポーツの種目を決めてイベントを実施するのではなく、「さあ、みんなおいで!! 運動しようよ!」という感じで、お兄さんやお姉さんが楽しく遊んでくれるというイベントにするとよい。楽しい要素をたくさんやってみて、ボールやラケットに触れてみるとか、色んな仕組みを広げて、ハードルを下げる。スモールステップをたくさん作るとよいのではないかな。

意見3：城北スタイルを貫くことが大切。方法は様々あるので、城北生にあった取組により、城北生を育ててほしい。

意見4：企業と連携した総合的な探究の時間は、とてもよいと思う。生徒も企業もメリットがある。企業でインターンシップをすることで社会性が養われる。解決する力を養うことは、学びに繋がる。

意見5：地域との連携が多くあり、こんな学びができるのは専門学科ならではのことだと思う。普通科では実践できないことが多く、非常に羨ましいと感じた。ドローンやアバターに関する授業など、城北ならではの取組が多い。

意見6：総合学科、生活デザイン科での系列やコースの専門的な学びの特徴がとても色濃く出ている取組だなあと感心した。地域を理解し、岐阜のことを好きになってくれる生徒が育つことを願う。

意見7：今年度は学科の学びや部活動で全国的に注目をされていると思う。素晴らしいことであるので自信と誇りをもってほしいと思うが、謙虚な気持ちも持ち合わせ、さらに活躍してほしい。

意見8：スクール・ミッションについて、部活動も頑張っており、部活動で成長する部分もたくさんある。その要素も入れるとよい。また、城北生の活動が地域に元気を与えているので、「地域に活力を与え」などの文言を入れてはどうか。

6 会議のまとめ

- ・スクール・ミッションや本校の教育活動、学科の取組について、様々な視点からのご意見をいただいた。改善が必要なところは速やかに対応し、今後の活動に活かしていきたい。
- ・第3回では、スクール・ミッションの最終承認を受けるとともに、今年度の取組についての反省及び次年度に向けて意見、助言等を得る予定である。